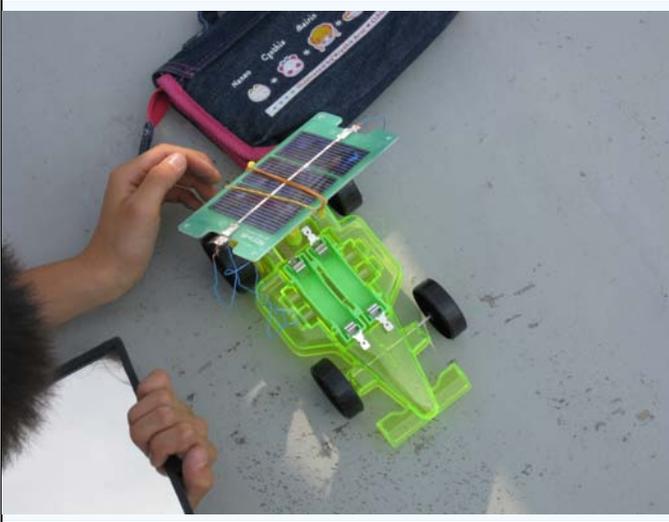


テーマ: 『 市街地の小学校における自然との関わり合いを通じた感性を深める環境教育 』

伊勢原市立 伊勢原小学校

Tel. 0463-95-2519 担当者: 内山 未菜



■実践内容:

伊勢原小学校では、各学年が生活科・理科・総合的な学習の時間などを中心に、植物を育てる体験を行った。また、地球環境の保全学習の視点で伊勢原市との協働でベランダでの緑のカーテン活動に高学年が取り組み、教室の温度調査などを行った。科学の力で地球環境の保全探求活動の一環として 4 年生が理科学習で光電池のしくみについて学習を行い、ソーラーカーを作り太陽エネルギーの不思議さを学んだ。発展学習として伊勢原市立子ども科学館職員を招いてソーラーッキングを実体験した。ここでも太陽エネルギーの大きな力となることを学んだ。さらに 5 年生が、環境の保全調査の学習として地域にある公園内でのゴミ調査活動を行うと共にゴミの回収活動も行った。6 年生は、10 月に行われた伊勢原市道灌祭りで祭り会場内のゴミ拾い活動を行った。

■実践成果:

環境が人をつくると言われているが、小学校教育で大切なことは豊かな感性を子どもたちに育むことである。本年度の実践を通して地域の自然への愛着が深められたり、環境学習を通じてエネルギーの大切さを学び、学校内の水道や電気の無駄遣いをする子が少なくなった。少しずつではあるが、感性豊かな子どもに成長しているように感じられる。課題としては、校庭の一角に花壇を造る計画であったが、諸事情で未完成であるが、本年度中には完成させる予定である。

■実践ポイント:

市街地でありながらまだまだ自然が残る学区である。指導者自身が地域に向いて豊かな自然を題材にした教材開発や授業に挑戦する意気込みが大切である。また、校内の花壇や樹木などの身近な自然を授業で活用することも大切である。